

「物理世界」に溶け込む AI とディスプレイ： CES・SPIE から読み解く 2026 年の最前線と 2030 年展望

講 師：北原 洋明 氏 テック・アンド・ビズ株式会社 代表取締役

本セミナーでは、先ず、2026 年初頭に米国で開催された CES および SPIE AR|VR|MR のトピックスを報告する。更に、2025 年に日本・アジア（韓国、台湾、中国）で開催された半導体・ディスプレイ・LED 関連イベントを俯瞰し、世界の技術・産業潮流を整理する。これらを貫く大きな潮流は、AI がデジタル世界を超えて、物理世界へと侵入し始めていることである。

第 2 章ではハードウェア視点から、ディスプレイと AI の関係性の変化を整理し、第 3 章では産業・HMI 戦略の視点から、フィジカル AI 時代におけるディスプレイの役割を考察する。最終章では、2030 年に向けた技術・産業の方向性を展望する。

【講師経歴】 2006 年 12 月にテック・アンド・ビズ株式会社を設立。ディスプレイ、LED、太陽電池、半導体などの電子デバイス関連の情報サービス活動、ビジネスマッチングなどの活動を展開している。製造拠点および巨大な市場であるアジア各地の現地での生情報を重視し、日系企業の海外ビジネス展開をサポートしている。中国光学光電子行业协会液晶分会顧問、中国深圳ディスプレイ協会専家顧問を務め、その他の中国・台湾・韓国の業界組織とも連携を取りながら日系企業の現地での活動支援、セミナー・展示会などのイベント開催、企業訪問アレンジなども行っている。

背景となる経歴は、1978~1988 年に日電アネルバ（現キヤノンアネルバ）にて主に半導体用スパッタ装置のプロセス開発に従事。顧客へのセールス活動、装置納入後のプロセス立ち上げ・プロセスサポートまでカバー。1988~2000 年、日本アイ・ビー・エムにて TFT 液晶パネルのプロセス開発および生産技術を担当。この間、第 1 世代から第 3 世代の液晶製造ラインの導入・立ち上げおよび次世代ラインの検討に携わる。2001~2006 年、同社にて高精細ディスプレイのマーケティング、ディスプレイ関連のソリューションビジネスに携わる。

【活動】 業界活動に積極的に参画。業界団体である SEMI PCS-FPD 活動では、副委員長として液晶生産ラインの在り方、生産性向上、業界の指針となるロードマップ作成などについての検討作業に中心的な役割を果たす。その他、JEITA 委員、業界セミナーのプログラム委員などに携わる。これらの経験を基に、産業界の動向や技術トレンドなどをまとめ、執筆・講演活動も行っている。主な著書に、『新液晶産業論—大型化から多様化への転換』（工業調査会）、『図解わかりやすい液晶ディスプレイ、技術とビジネスのトレンド』（日刊工業新聞社）、直近では『AR/VR/MR 機器の技術と関連部材』（カワサキテクノリサーチ）などがある。

開催日時	2026 年 3 月 30 日（月）13:30~16:30	<p>※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用の URL を別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。 ★受講中の録音・撮影等は固くお断りいたします。</p>
受 講 料	<p>44,000 円（税込）※資料付</p> <p>* メルマガ登録者 39,600 円（税込）</p> <p>* アカデミック価格 26,400 円（税込）</p>	

* アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。
★【メルマガ会員特典】 2 名以上同時申込かつ申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合、1 名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。 **★【セミナー対象者】** 次世代電子デバイスの技術と製品に対するビジネスチャンスを模索している企業、企画部門、開発部門などの担当者。その他、産業動向にご关心の方々など。 **★【得られる知識】** 2025 年～2026 年に大きく変化する電子デバイス、ディスプレイの産業動向、及び背景となるデバイス技術と市場の進化。AI の進化とハードウェアへの実装で拡大する市場の方向性。

【本セミナーのプログラム概要】

※適宜休憩が入ります。

1. CES など世界のイベントに見る最新動向
 - 1.1 CES2026 (1/4~9@Las Vegas) のトピックス
 - 1.2 SPIE AR|VR|MR (2026 は 1/20~23@San Francisco) のトピックス AR-AI Glass、Micro Display、光学系、等
 - 1.3 2025 年の半導体、ディスプレイ関連イベントを回顧
 - 1.4 2025-26 年のイベントを貫く 3 つの共通軸
2. AI × ディスプレイが創る新産業：進化する表示技術と市場
 - 2.1 表示技術の進化：表示から知覚へ
 - 2.2 デバイス進化：XR・車載（自動運転）
 - 2.3 人間拡張と社会実装
3. フィジカル AI 時代の HMI 戦略
 - 3.1 ディスプレイは HMI ツールから空間拡張の「入口」へ
 - 3.2 空間映像の仮想世界と現実を橋渡しする AI
 - 3.3 Physical AI × ディスプレイが人間拡張を加速する
4. まとめ

(1 章の最新動向整理によってプログラム内容を修正する場合があります)

【※詳細は 3 ページ目に記載】

弊社記入欄	ウェビナー申込書		
セミナー名	「物理世界」に溶け込む AI とディスプレイ：CES・SPIE から読み解く 2026 年の最前線と 2030 年展望 (3/30)		
所定の事項に ご記入下さい メルマガ会員、 登録希望の場合は○↓	会社名（団体名） 住 所 〒	TEL : FAX : E-mail :	
会員登録 済み	新規 登録希望	部署	役職
お支払方法	銀行振込	・ その他	お支払予定
			2026 年 月 日頃

■ 申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (order_7053@cmcre.com) でお申し込みください。
 ■ セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受けしておりません。ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。
 ■ 申込先：株式会社リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL:03-3293-7053
 ■ 本セミナーの関連情報は、弊社 HP でもご覧になれます。⇒ <https://cmcre.com/>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

2026年3月30日(月)開催

「物理世界」に溶け込むAIとディスプレイ： CES・SPIEから読み解く2026年の最前線と2030年展望

講師：北原 洋明 氏 テック・アンド・ビズ株式会社 代表取締役

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

【ライブ配信対応セミナー】

- ・本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。
お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- ・当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- ・タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ・ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- ・「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。
<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- ・開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- ・事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- ・セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- ・講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- ・資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- ・本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。
<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6>
- ・Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- ・インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- ・万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- ・本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- ・受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- ・Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一部外者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。

2026年3月30日(月)開催

「物理世界」に溶け込むAIとディスプレイ： CES・SPIEから読み解く2026年の最前線と2030年展望

セミナープログラム詳細

1. CESなど世界のイベントに見る最新動向

- 1.1 CES2026 (1/4-9@Las Vegas) のトピックス
 - Super-QD vs. RGB Mini LED vs. Micro RGB
 - 大画面TVをAIで再定義
 - 空間に溶け込む透明ディスプレイ、等々
- 1.2 SPIE AR|VR|MR (2026は1/20-23@San Francisco) のトピックス
 - AR-AI Glass、Micro Display、光学系、等
- 1.3 2025年の半導体、ディスプレイ関連イベントを回顧
 - SEMICON Japan/Taiwan、SID/Display Week (US)、Touch Taiwan (台湾)、K-Display (韓国)、DIC (中国)、IDW (日本)および中国各地のホットな会議、等々
- 1.4 2025-26年のイベントを貫く3つの共通軸
 - AIの“物理世界侵入”、後工程・光・電力の重要性上昇、中国勢の量産スピード

2. AI×ディスプレイが創る新産業：進化する表示技術と市場

- 2.1 表示技術の進化：表示から知覚へ
 - AI×ディスプレイ
 - 次世代ディスプレイと空間UX
- 2.2 デバイス進化：XR・車載（自動運転）
 - マイクロディスプレイ：LCoS/Micro OLED/Micro LED
 - 光学系・メタサーフェス
 - 車内空間の拡張
 - 車載ディスプレイの地位変化：HMI→空間UX→安全装置
- 2.3 人間拡張と社会実装
 - あらゆるハードに搭載されるAIが“人間拡張”を加速する
 - ヘルスケア、ディスプレイと眼の健康

3. フィジカルAI時代のHMI戦略

- 3.1 ディスプレイはHMIツールから空間拡張の「入口」へ
 - 「操作するHMI」から「察するHMI」への転換
 - ディスプレイは“空間UX”への入口になる
- 3.2 空間映像の仮想世界と現実を橋渡しするAI
 - 空間映像は「映像技術」ではなく「理解技術」
 - AIの高度化：空間理解と状況認識AI
 - AIが“意味”を与えるディスプレイ
- 3.3 Physical AI × ディスプレイが人間拡張を加速する
 - ディスプレイはAIの“翻訳装置”
 - 人間拡張を支える表示技術
 - フィジカルAI時代のHMI戦略の本質

4. まとめ

- 技術の不可逆トレンド
- 産業構造が変わるポイント
- 2030年に向けた勝ち筋

(1章の最新動向整理によってプログラム内容を修正する場合があります)